



日本共産党文京区議会議員
まだち幹夫 通信
 2010年7月23日号 No.153

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

“せきを切ったように”生活相談が寄せられています。
「一生懸命働いてきたのに、夫の入院を機に大変に。年金があっても暮らしていけないなんて…」



“参院選挙が終わると同時に、いくつかの生活相談が寄せられています。母親が急に亡くなり、障害もつ父親と定職が見つからない青年からの相談。まず困るのは住宅。母親の収入に頼っていたため、相応の住宅に越すしありません。福祉事務所とも相談しながら進めています。”

70歳代の女性からは、夫の入院で生

「いきいき礪川」(介護施設) 開設三周年記念のイベント

連休の17日の午後、富坂警察署裏の「いきいき礪川」の開設3周年記念の集まりに出席しました。地域からの信頼の高さの反映か、いっばいの出席



者。「最初は来るのに抵抗があったが今は楽しい。もう少しだまされた」とユーモア交えた利用者の挨拶が印象的でした。

活が急変し、やはり現在の住まいを移らざるを得なくなった相談を受けました。厚生年金と国民年金があっても、家賃、入院費を払ったら暮らしていけません。こつこつ現状を見れば、「消費税の増税はしかたない」とはさすがに言えないのでは？福祉の基準すれすれで一生懸命頑張つて生活する方々が、希望をもつて生活していくことを応援する政治にしなければいけません！

お気軽に相談を
 仕事・くらしの悩み
 まんだち幹夫事務所
 日本共産党

梅雨明け、夏本番 朝顔ほおずき市



梅雨明け後の18、19日の連休は「朝顔ほおずき市」伝通院の



境内に朝顔、源覚寺(こんにやくえんま)にほおずき、今年で25回目でした。町会、地区対など関係者の努力はすごいものがあります。

「日本生活福祉協同組合」として発展、強化

19日午後、区民センターにて医療生協養生会の集まりがありました。住民のいのちとくらしをまもる活動をさらに強化させるため、今後「生活福祉協同組合」として組織的にも発展するとのこと。



まんだち日記

14日 参院選挙へのご支援のお礼をしながら、区議団での打ち合わせも始まり、今日は区議団二ニュースの原稿締め切り。来月初旬にはみなさんのお手もとに届けます。

17日 午前、朝顔ほおずき市の荷物搬入のお手伝い。午後、「いきいき礪川」へ(左上記事)。夕方、事務所にて「選挙報告会」。20数人が集まっていた。き貴重な意見交換をしました。

18日 昼、朝顔ほおずき市に式典に参加。尚美学園のマーチングバンドが暑さを吹き飛ばしてくれました。夕方、息子の通う学校の舞台を鑑賞。観るのは今回で3回目でしたが、勉強の成果が表れていて感激しました。